

令和3年度 第1回鹿児島市男女共同参画審議会 会議概要

日 時	令和3年7月29日（木） 10時00分～11時40分
場 所	サンエールかごしま 5階 特別会議室
出席者	<p>委員16名 山田委員（会長）、笹川委員（副会長）、大石委員、大重委員、川崎委員、黒岩委員、小嶋委員、曾田委員、瀧川委員、竹林委員、竹之下委員、花田委員、福島委員、藤田委員、松野委員、三輪委員、渡委員 （欠席：石走委員、瀬戸口委員、村山委員）</p> <p>女性活躍アドバイザー、人権政策部長、男女共同参画推進課長、係長ほか2名</p>
会次第	<p>1 開会 2 新委員の紹介 3 議事 (1) 本市の男女共同参画の推進状況について ①本市における女性の公職参画状況 ②第2次男女共同参画計画に基づく令和2年度事業実施状況及び令和3年度事業実施計画、指標の達成状況 (2) 第3次男女共同参画計画の体系及び具体的取組について 4 閉会</p>
議事概要	<p>3 (1) ① ○国は2025年までに防災会議の女性委員の割合15%を目指しているが、鹿児島市は7.1%で倍に増やさないといけない。防災対策へ女性の視点、ジェンダーの視点をもっと反映させるという全国的な課題である。 ○ジェンダーの問題で「見える化」というキーワードがよく登場する。見える化する中で、教育の現場もかわってきている。事務局もそういった問題意識を持って、機会があれば事実を公表する、伝えるという流れを作ったらいののかなと思う。</p> <p>3 (1) ② ○資料2の13ページ児童クラブについて。資料3の方では目標達成に○がついているが、希望者は全員入れているのか。 ●目標達成となっているが、これは計画策定時の目標値であり、需要が変動する中で、入所希望が増えている傾向もあり、待機児童はゼロではない。その中で、今年度の増設が予定されているように、待機児童解消に向けて拡充しているところである。 ○学校では、意識づくりという点で今年大きく変わった。小中学校の名簿で、男女別名簿はもう数校しか残っていない。子どもたちの中でも大きな意識の変化につながっているのではないかと思っている。</p> <p>3 (2) ○「市役所における育児休業取得率（男性）」の目標値がすごく弱気だなと感じる。市は50%ないし70%くらいはあってもいいのではないか。「男性は仕事、女性は家庭」とか「子どものことは女性が」とか、すべてここから始まるのではと思っている。 ○SDGsの各目標について、どの施策に該当するかという早見表的なものをつけてもらいたい。 ◇昨年8月に市民意識調査があり、南日本新聞でも調査されていたが、「女性活躍はもういいんじゃないの、もうやってるんじゃないの」という意識が鹿児島市の男性の中には強く、男性と女性の意識の差がまだまだあると感じた。男性、女性の意識の差というのは社会通念、しきたりに関わってくるのかなと思う。そういうところがまだ根底にあると意識して、まだまだ頑張らないといけないと思っている。</p>